

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和10年06月04日

計画の名称	東大阪市のみどりの核となり、誰もが安全で安心して利用出来る都市公園の整備（防災・安全）（その3）（重点）													
計画の期間	令和03年度 ～ 令和07年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	東大阪市													
計画の目標	「東大阪市みどりの基本計画」で本市のみどりの核として位置づけられる花園中央公園において、日常は子供から高齢者まで誰もが楽しめる憩いの場として、災害時には「東大阪市地域防災計画」に定められた広域避難場所としての機能を発揮する総合公園としての整備を行う。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		1,164	A	1,164	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R3当初)	(R5末)	(R7末)
1	花園中央公園における避難対象可能人口65千人（R3当初）から98千人（R7末）に増加させる			
	花園中央公園における避難対象可能人口値	65千人	75千人	98千人
	評価時点の避難可能（整備）面積値／2㎡（一人当たりの避難地面積）			

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	×	避難行動要支援者名簿の提供	○
東大阪市国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：A12-001																

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	東大阪市	直接	東大阪市	－	－	都市公園事業（花園中央公園）	園路広場・修景施設整備、用地買収等	東大阪市	■	■	■	■	■	1,164		－
											小計						1,164		
											合計						1,164		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05		
配分額 (a)	3	18	25		
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	3	18	25		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0		
支払済額 (e)	3	18	25		
翌年度繰越額 (f)	0	0	0		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 東大阪市のみどりの核となり、誰もが安全で安心して利用出来る都市公園の整備（防災・安全）（その3）（重点）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 地域防災計画への位置づけがある。	○
I. 目標の妥当性 その他の（上位）計画等への位置づけ及び整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている	○
II. 計画の効果・効率性 少子・高齢化社会への対応を図っている。	○
II. 計画の効果・効率性 調査や計画に基づき事業を行っている。	○
III. 計画の実現可能性 まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 各種の競技会・大会等に利用出来る施設については、各種団体等と協議を行い要望聴取等を実施している。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和106年06月04日

計画の名称	東大阪市のみどりの核となり、誰もが安全で安心して利用出来る都市公園の整備（防災・安全）（その3）													
計画の期間	令和0 3 年度 ～ 令和0 7 年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	東大阪市													
計画の目標	市民の身近な憩いの場として、また災害時には緊急避難場所として活用される都市公園において、施設の長寿命化対策を推進し、適正な維持管理を行うとともに、都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業による都市公園のバリアフリー化等を実施し、利用者の安全・安心を確保する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		555	A	555	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R3当初)	(R5末)	(R7末)
1	令和3年度～令和7年度における公園施設長寿命化計画の長寿命化実施公園施設数の割合を0%（R3当初）から100%（R7末）に増加させる。 令和3年度～令和7年度における公園施設長寿命化計画の長寿命化実施公園施設数の割合 R3～R7長寿命化計画達成率＝R3～R5実施施設数／R3～R7計画施設数	0%	60%	100%
2	市内都市公園のバリアフリー化の割合を49%（R3当初）から60%（R7末）に増加させる。 都市公園のバリアフリー化の割合 都市公園のバリアフリー化の割合＝都市公園移動等円滑化基準に適合された都市公園数／全都市公園数	49%	55%	60%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	
東大阪市国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：A12-001, A12-003																

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	東大阪市	直接	東大阪市	－	－	公園施設長寿命化対策支援事業	遊具更新、スポーツ施設改修等	東大阪市	■	■	■	■	■	250		策定済	
	A12-002	公園	一般	東大阪市	直接	東大阪市	－	－	公園施設長寿命化計画策定調査	公園施設長寿命化計画変更に係る健全度調査等業務委託	東大阪市	■	■	■			17		策定済	
	A12-003	公園	一般	東大阪市	直接	東大阪市	－	－	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	都市公園のバリアフリー化のための園路舗装及び防犯性の向上に資する公園施設の整備等	東大阪市	■	■	■	■	■	288		－	
												小計						555		
											合計						555			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05		
配分額 (a)	32	36	44		
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	32	36	44		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0		
支払済額 (e)	32	36	44		
翌年度繰越額 (f)	0	0	0		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 東大阪市のみどりの核となり、誰もが安全で安心して利用出来る都市公園の整備（防災・安全）（その3）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 地域防災計画への位置づけがある。	○
I. 目標の妥当性 その他の（上位）計画等への位置づけ及び整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 少子・高齢化社会への対応を図っている。	○
II. 計画の効果・効率性 調査や計画に基づき事業を行っている。	○
III. 計画の実現可能性 まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 各種の競技会・大会等に利用出来る施設については、各種団体等と協議を行い要望聴取等を実施している。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○